

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※申請図書番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-89	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の記号・ 番号	※教 科 書 名		
109 文英堂	古探 712	古典探究		

1. 編修の基本方針

- 本書は、教育基本法第2条に示されている教育の目標をふまえ、下記の基本方針に基づいて編修した。
- ・「伝統的な言語文化に関する理解」を深めることができる教材の選定・編成に配慮した。
 - ・文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむとともに、それらに表された人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方・感じ方、考え方を豊かにすることによって、古典を的確に理解し、効果的に表現する能力の涵養を図る。
 - ・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等の育成」の立場から、教材選定を行った。
 - ・「主体的・対話的で深い学び」を実現すべく、アクティブ・ラーニングの視点を多くの教材で取り入れた。また、指導内容のつながりを意識しながら重点化していけるよう、単元や題材のまとまりに配慮した。

2. 対照表

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	・人間の真理の諸相を的確な筆で描いた『徒然草』『方丈記』を取り上げた。	78頁1行目～93頁10行目
	・さまざまな人間の行動をたとえ話などに象徴させ、人間の真理を衝いたものとして「故事成語」の諸編を取り上げた。	266頁1行目～267頁9行目・342頁1行目～344頁8行目
	・真理を求める態度と道徳心の涵養を養うように、孔子の生き方や学問、生活、人生などに関する誠実な姿勢を表した「論語」を取り上げた。	314頁1行目～316頁10行目
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	・「日本永代蔵」の「世界の借屋大将」で徹底した合理主義的思考によって一代で財を成した「藤市」の姿を通して、自主及び独立の精神と勤労を重んじる態度を養うよう取り上げた。	150頁1行目～152頁16行目
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	・漢文編「論語」で、正義と責任（信義）について述べた「子貢曰問政。子曰、『足食、足兵…』」を取り上げた。	316頁1行目

第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	・生命の尊重と、自然を大切にする心を涵養する「和歌春の歌十四首」「奥の細道発句選」の単元を取り上げた。	114頁1行目～118頁2行目・224頁5行目～226頁10行目
	・漢詩「鹿柴」「楓橋夜泊」「望廬山瀑布」「九月十三夜」を取り上げ、自然の風景の美しさ・尊さを養うよすがとした。	294頁1行目～297頁4行目
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	・古文作品を通じて我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう教材化に配慮した。また、『土佐日記』の「阿倍仲麻呂」を取り上げ、中国との往来を意識させるようにした。	古文全体
	・漢文作品を通じて我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うとともに他国を尊重する態度を涵養できるよう教材化に配慮した。また、漢文教材に関連する現代文作品「山月記」を取り上げ、日本と中国との文学的つながりを意識させた。	漢文編全体

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・教材をより立体的に理解するために、各単元の扉に、取り上げた教材の成立年代を年表形式で掲げた。
- ・教材をより深く理解するため、また教材に関連したテーマの理解を深めるため、古文編で12本、漢文編で9本の「コラム」欄を設けた。さらに学びを深めるためのページ「探究の扉」欄を古文編・漢文編第二部各単元末に設けた。
- ・古典作品に流れる思想や感情の共通点や相違点をみるため、読み比べ教材を多く配した。また、人類共通の感情をさぐるため、時間的・空間的に異なる神話作品（日本神話とギリシャ神話）を取り上げた。
- ・押さえておくべき文法・句法事項について「古文読解のために」「漢文読解のために」欄を設けた。
- ・言語文化への理解につながる読書の意義を深めるため、各部末に「読書のすすめ」欄を設けた。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※申請図書番号	学 校	教 科	種 目	学 年	
103-89	高等学校	国語	古典探究		
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名			
109 文英堂	古探 712	古典探究			

1. 編修上特に意を用いた点や特色

・古典としての古文・漢文を読むことによって、我が国の伝統的な言語文化に関する内容の理解を深め、生涯にわたって古典に親しめる態度が育成できるよう編修に意を用いた。

・我が国の文化と中国文化をはじめとする外国文化との関係について考えとともに、古典という言語文化を正しく継承し、それを現代に生かす態度を育てよう配慮した。

・同じ題材を取り上げた複数の古典の作品を読み比べる教材を多く採録し、古典作品にあらわれる思想や感情に触れることができるよう配慮した。

・和歌や漢詩の創作や、古文の英訳を読むことなど、言語活動に関する教材も多く配し、表現力向上に意を用いた。

・教材は、すべて言語作品、言語的文化遺産として優れたもの、我が国の言語文化に対する関心が育まれるもの、生徒の情緒・感性、その知的探究心に訴える豊かな内容をもつものという観点から精選し、古文、漢文の適量化および相互の有機的連関に配慮し、全体としての有機的なつながりやバランスにも配慮した。

・教材本文と、単元年表（成立年代等を記載）・コラム・探究の扉・付録・参考資料・前後見返しを有機的に関連させて、教材をより深く理解できるよう配慮した。

2. 対照表

図書の構成 ・内容	学習指導要領の内容																				該当箇所	配当時数					
	(知識及び技能) (1)				(2)				〔思考力、判断力、表現力等〕 A読むこと (1)								(2)										
	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ア	イ	ウ	エ			オ	カ	キ		
1古文に親しむ 児の胎食ひたること	○	○	○				○				○	○	○	○	○	○									12-13頁	1	
コラム 古文への招待																										14-15頁	—
猿沢の池の竜の事							○				○	○	○	○	○	○									16-17頁	1	
参考 竜											○													○		18-23頁	—
大江山	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○									24頁	1	
言語活動 くずし字を読んでみよう																								○		26-27頁	1
古文読解のために1							○																			28頁	—
2ものの伝え方を読み取る 初冠	○	○	○				○				○	○	○	○	○	○	○									30頁	1
梓弓	○	○	○				○				○	○	○	○	○	○	○									32-33頁	1
渚の院	○	○	○				○				○	○	○	○	○	○	○									34-36頁	1
つひにゆく道	○	○	○				○				○	○	○	○	○	○	○							○		37頁	1
姨捨	○	○	○				○				○	○	○	○	○	○	○							○		38-39頁	1
参考 能 姨捨	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○	○									40-45頁	—
コラム 姨捨山に照る月を見て											○	○	○	○	○	○										46-47頁	—
阿倍仲麻呂	○	○	○				○																	○		48-49頁	1
コラム 阿倍仲麻呂											○	○	○	○	○	○										50-51頁	—
古文読解のために2							○																			52頁	—
3思いを読み取る あづま路の道の果て	○	○	○				○				○	○	○	○	○	○	○							○		54-55頁	1
源氏の五十余巻	○	○	○				○				○	○	○	○	○	○	○							○		56-58頁	2
参考 少女と物語											○	○														59-61頁	—
桐壺	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○								62-66頁	2
若紫	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○								67-71頁	2
言語活動 古典の英訳を読んでみよう							○				○	○												○		72-73頁	1
コラム 古典を伝える											○															74-75頁	—
古文読解のために3							○																			76頁	—
4見方・考え方を広げる 世に語り伝ふること	○	○	○				○				○	○	○	○	○	○	○									78頁	1
大事を思ひたたん人は あだし野の露	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○								80頁	1
あだし野の露	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○								82-83頁	1
春の暮つかた	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○	○									84頁	1
参考 つれづれなるままに							○																	○		85頁	—
ゆく河の流れ	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○	○									86-87頁	1
日野山の閑居	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○	○									88-89頁	1
参考 移動の可能性と鴨長明											○	○														90-91頁	—
大地震	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○	○									92-93頁	1
言語活動 ハザードマップを調べてみよう																								○		94-95頁	2
古文読解のために4							○																			96頁	—
5人間関係を読み取る 忠度の都落ち	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○	○									98-101頁	2
能登殿の最期	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○	○							○		102-104頁	2
参考 平家物語 (紙園精舎)	○	○	○	○																				○		106頁	—
なべて世のはかなきことを	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○	○									108-109頁	1
コラム 芸能の流れと古典文学																										110-111頁	—
古文読解のために5							○																			112頁	—
6文化について考える 和歌 春の歌十四首	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○	○							○		114-118頁	2
言語活動 題詠の歌をつくってみよう																								○	○	120-121頁	2
歌故に命失ふ事	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○	○									122-123頁	1
参考 天徳四年内裏歌合	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○									124頁	—
花の白川	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○	○							○		126-127頁	1
和漢朗詠集 (秋夜/十五夜)	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○	○							○		128-129頁	1
歌謡 (梁塵秘抄/閑吟集)	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○	○									130-131頁	1
コラム 和歌の流れと広がり																										132-133頁	—
古文読解のために6							○																			134頁	—
7社会に対する考えを深める 浅茅が宿	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○	○	○									136-141頁	2
参考 愛卿伝							○				○	○												○		142-145頁	—

図書構成 ・内容	学習指導要領の内容																				該当箇所	配当時数		
	〔知識及び技能〕 (1)				(2)				〔思考力、判断力、表現力等〕 A読むこと (1)								(2)							
	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ア	イ	ウ	エ			オ	カ
徳兵衛お初 道行	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○			○				146-148頁	1
世界の借屋大将	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							150-152頁	2
コラム 江戸時代の出版									○		○												154-155頁	—
読書のすすめ1								○															156頁	—
1古文を味わう 夢を買ふ人の事	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							158-160頁	1
清水寺御帳賜る女の事	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○				○			161-163頁	2
コラム 古代における夢									○		○												164-165頁	—
探究の扉 『宇治大納言物語』									○		○												166頁	—
2先人の世界を理解する 宮に初めて参りたるころ	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							168-169頁	1
中納言参りたまひて	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							170頁	1
村上の先帝の御時に	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							171頁	1
この草子	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							172-173頁	1
土御門殿の秋	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							174頁	1
嘆きつつ	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							176-177頁	1
薫る香に	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							178-180頁	1
探究の扉 『枕草子』にみる菓子									○		○												182頁	—
3もの伝え方を読み解く 雲林院の菩提講	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							184-186頁	1
道真の左遷	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							187-189頁	2
花山院の出家	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							190-193頁	2
参考 栄花物語	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○				○			194-195頁	—
南院の鏡射	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							196-197頁	1
コラム 文学と歴史									○		○												198-199頁	—
探究の扉 菅原道真と天神信仰											○												200頁	—
4人の生き方を読み取る 葵	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							202-205頁	2
須磨	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							206-209頁	2
明石	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							210-214頁	2
御法	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							215-218頁	2
コラム 『源氏物語』の再生産									○		○												220-221頁	—
探究の扉 「源氏物語」の五十四帖									○		○												222頁	—
5自分の生き方を考える 奥の細道築句選 行く春や…	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○					○		224-226頁	2
最上川	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							228-229頁	2
参考 曾良旅日記	○	○				○	○		○	○	○	○								○			230-231頁	—
言語活動 『奥の細道』の行程をたど ろう																				○	○		232-233頁	2
行く春を	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							234-235頁	1
岩鼻や	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							236頁	1
不易流行	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							238-239頁	1
探究の扉 芭蕉・蕪村・一茶									○		○												240頁	—
6見方・考え方を深める やまと歌は	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○					○		242-243頁	1
深草の里	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							244-245頁	1
虚実皮膜の間	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							246-247頁	1
兼好法師が詞のあげつらひ	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							248-249頁	2
参考 徒然草 (第百三十七段)	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							251頁	—
コラム 古典における評論									○		○												252-253頁	—
探究の扉 国学									○		○												254頁	—
7古典に対する考えを深める 須佐之男命の大蛇退治	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							256-259頁	2
参考 キリシヤ神話									○		○									○			260-261頁	—
コラム 日本神話とギリシヤ神話									○		○									○			262-263頁	—
読書のすすめ2								○															264頁	—
1漢文に親しむ 朝三暮四	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	266頁	1
漁父利	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	267頁	1
コラム 世界の動物寓話									○		○												268-269頁	—
畏鏡頭	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	270頁	1
参考 鏡頭こわい									○		○										○		272-275頁	—
漢文読解のために1								○															276頁	—
2人物像を読み取る 鴻門之会	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							279-283頁	3
四面楚歌	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○					○		285-286頁	1
項羽の最期	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							287-289頁	2
コラム 項羽と虞美人									○		○												290-291頁	—
漢文読解のために2								○															292頁	—
3 漢詩の世界を味わう 鹿柴	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						○	294頁	1
楓橋夜泊	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						○	295頁	
望廬山瀑布	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						○	296頁	
九月十三夜	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						○	297頁	1
涼州詞	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						○	298頁	
月夜	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						○	299頁	1
送友人	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						○	300頁	
送夏目漱石之伊予	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						○	301頁	1
桃天	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						○	302頁	
子夜呉歌	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						○	303頁	1
過故人莊	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						○	304頁	
登高	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						○	305頁	1

図書構成 ・内容	学習指導要領の内容																				該当箇所	配当時数			
	〔知識及び技能〕 (1)				(2)				〔思考力、判断力、表現力等〕 A読むこと (1)								(2)								
	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ア	イ	ウ	エ			オ	カ	キ
飲酒	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			306頁	1
題老梅図	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			307頁	
言語活動 漢詩の句をつくってみよう						○													○				308-309頁	2	
コラム 漢詩は何を詠じているのか									○		○													310-311頁	—
漢文読解のために3						○																		312頁	—
4見方・考え方を学ぶ 子貢曰、「貧而無詔…」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							314頁	1
子貢問、「師与簡也…」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							314頁	
子路問、「聞斯行諸…」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							315頁	1
子貢問政。子曰、「足食…」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							316頁	
子路問君子。子曰、「修己以敬…」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							316頁	
参考 論語と算盤									○		○													318-321頁	—
仁人心也、義人路也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							322頁	1
不忍人之心	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							323-324頁	1
参考 性悪	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							325頁	—
コラム 儒家の思想と教育									○		○													326-327頁	—
漢文読解のために4						○																		328頁	—
社会について考える 漁父辞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							330-331頁	1
捕蛇者説	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							333-336頁	2
参考 苛政猛於虎也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							337頁	—
コラム 文体について									○		○													338-339頁	—
読書のすすめ3								○																340頁	—
1漢文を味わう 画竜点睛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	342頁	1
刻舟求剣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	343頁	1
先從隗始	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	344頁	1
所争在弓箭不在米塩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							346頁	1
探究の扉 遠慮									○		○												○	348頁	—
2人間関係を読み解く 水魚之交	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			350-352頁	2
死諸葛志生仲達	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							353-354頁	2
参考 星落秋風五丈原				○					○		○													355頁	—
言語活動 史話の世界を演じてみよう									○		○										○			356-357頁	2
コラム 『十八史略』と『三国志』									○		○													358-359頁	—
探究の扉 三国の戦い由来の故事成語									○		○													360頁	—
3人の思いを読み取る 長恨歌	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			362-368頁	3
参考 源氏物語	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			369頁	—
コラム 長恨歌と平安文学									○		○													370-371頁	—
探究の扉 今に生きる漢詩									○		○													372頁	—
4多様な考え方を学ぶ 無為	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							374頁	1
小国寡民	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							375頁	1
無用之用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							376頁	1
曳尾於塗中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							377頁	1
夢為胡蝶	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							378頁	1
渾沌	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							379頁	1
参考 科学者のこころ									○		○													381-383頁	—
侵官之害	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							384-385頁	1
二人説	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							386-387頁	1
コラム 道家と法家									○		○													388-389頁	—
探究の扉 『菜根譚』									○		○													390頁	—
5社会とのかかわりを考える 掃去来辞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			392-395頁	2
師説	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							396-399頁	2
コラム 古文復興運動									○		○													400-401頁	—
探究の扉 「出師表」									○		○													402頁	—
6未来を思いえがく 人虎伝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							404-417頁	5
参考 山月記									○		○										○			418-430頁	—
参考 人が虎になる時									○		○													431-433頁	—
読書のすすめ4								○																434頁	—